

郵便はがき



〒四二六-〇〇二五
藤枝市藤枝四一七
大慶寺 大場正昭
Tel 〇五四-六四一-二二九
Fax 〇五四-六四四-二二六
ohba@ennyozan.org

お施餓鬼会

8月8日

年一回、万物の霊に供養し感謝する法要です。ご参列お焼香をお願い致します。

記

●日時 8月8日(月曜日)

午後1時 法話

午後2時 お施餓鬼法要

付施餓鬼 塔婆供養

●各家先祖の塔婆供養を致します。

・8月7日までにお申込下さい。

・付施餓鬼塔婆代は1本 2千円

・初盆塔婆代は 3千円

(申し込み例)

〇〇家先祖代々之霊 〇〇信士之霊 等
電話、FAX、Eメールで受け付けます。

■8月盆経時間の確認を

7月6日付けで発送した「お施餓鬼案内」に盆経の日時予定を同封致しました。今一度ご確認をお願い致します。変更希望は寺までご連絡下さい。可能な限りご希望に添うよう調整致します。

別世帯の子供、お孫様等にも法話羹をお届け致します。申込は寺まで。

緑のおじさんの誤解

今年の4月号で、お伝えした浮浪者の「緑のおじさん」。仕事、住まいもないので、その後も寺に食べ物求めてほぼ毎日来ていたが、最近急に来なくなった。体の具合が悪くなったのかと心配になったが、時より街で見かけるので、元気なことは元気なようだ。近いうちにまた来るだろうと思っていたが、1ヶ月近く来ていない。なぜ？と考えると、あることに気がついた。

今年の1月、大変寒い日が数日続いた。緑のおじさんが「何か着るものはないか、夜とても寒くて凍死しそうだ」と言う。

数年前、緑のダッフルコートを渡して以来の防寒具。思い当たるのは40年位前に買った革のジャンパー。何十年と着ていないが、タンスの奥にしまっておいたままになっている。どうしようか？躊躇したが、これからも着ることもないのだからと踏ん切りをつけ、おじさんに渡した。思わぬプレゼントに、おじさんは嬉々として受け取って冬を越した。そしてやがて



春になり、段々暖かくなってきた。おじさんは相変わらず、革のジャンパーを24時間ずつと着ている。明らかに汚れや垢で汚くなっている。

6月に入ると、暑くなったせいか、おじさんはジャンパーを腰に巻くようになった。その姿を見て、ふと心配に。夏、秋はどうする？

そこでおじさんに「ジャンパーをクリーニングするから、置いていって。また寒くなったらおじさんに貸すよ」と言うとおじさんは慌てて玄關を出て行つた。そう、これ以来、寺に来ていないのだ。

こちらの意に反して、たぶんおじさんは、ジャンパーを取られると思つたのだろう。

そして最近の猛暑。街でのおじさんを見れば、未だに革のコートを腰に巻いている。うーん、持っていたければ持つていても構わないのだが、それにしても、汗も更に加わり、間違いなく臭くなっていると思う。